

## 本市における生活保護制度

～事例集『支えられて生きる 支えて生きる』を発行

(事務局)

「生活保護制度」について、いろいろと話題になっていますね。

(堀添)

はい。本市でも生活保護扶助費は急増しており、毎年約600億円が充てられています。これは一般会計の約1割にあたります。

(事務局)

市民からの厳しい意見もよく耳にしますね。

(堀添)

そうですね。しかし、実態がきちんと理解されているかということでは、まだまだ多くの課題があるように感じています。

たとえば、大半の保護世帯は生活保護費だけで生活しているのではなく、パートやアルバイト、年金などの収入があり、不足分を生活保護費として支給されている、ということはあまり知られていません。保護費全体の約4割が医療扶助なのも、そのあらわれです。

また、保護世帯の約8割は、高齢世帯や傷病障害世帯、母子世帯であり、こうした方々の置かれている環境を考えると、経済的に厳しい状況からの脱却は、それほど容易ではありません。

(事務局)

本市はどのような対策をとっているのですか？

(堀添)

『川崎市生活保護・自立支援対策方針』を策定し、具体的な取り組みを進めています。この中では、雇用創出・就労支援をはじめ6つの目標を掲げています。

たとえば、生活保護世帯では子どもの高校進学率が低く中途退学者や不登校生徒も多くなっています。こうした「貧困の連鎖」というべき状況への取り組みも、その一つです。

(事務局)

まずは実態を正しく知ることが大切ですね。

(堀添)

そう思います。その点では、先日、川崎市が発行した『支えられて生きる 支えて生きる』は、実際に生活保護を受けていた方々の声や、第一線で関わっている職員等の思い、そして本市の状況などがわかりやすくまとめられています。川崎市のホームページからダウンロードも可能ですし、冊子としても配布されていますので、多くの方に読んでいただきたいと思います。

(事務局)

ありがとうございました。

問合先：健康福祉局 生活保護・自立支援室  
電話：044-200-3497

<http://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000047306.html>



- 1963(昭和38)年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブーンイレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 2007年4月、同2期目当選。
- 2011年4月、同3期目挑戦するも惜敗。
- 民主党神奈川18総支部 常任幹事
- 民主党神奈川県政委員
- 川崎地方自治研究センター客員研究員
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女の3人家族 下作延在住



# 川崎市における放射線測定結果(5月7日現在)

**浄水場**：川崎市内の2か所の浄水場では、毎日放射能測定を行っていますが、一昨年4月22日以降、放射性ヨウ素、放射性セシウムとも検出されていません。

**大気**：環境総合研究所、中原大気測定局、麻生大気測定局、公害研究所で、放射線量実態調査を毎月行っており、地上5cm、50cm、100cmとも自然界の放射線レベルの範囲内です。(4月は10、11日に実施)

**市内農産物**：果菜類(トマト、きゅうり)、根菜類(さつまいも、大根、玉葱)、果実(梅、梨、柿)の出荷前チェックでは、一昨年5月に梅(セシウム：29.5ベクレル/Kg)、10月に柿(セシウム：4.5ベクレル/Kg)から検出された以外は、検出されていませんでしたが、10月4日のチェックで柿から1.4ベクレル/Kgが、11月20日にはみかんから1.8ベクレル/Kgが検出されました。  
(食品衛生法上の基準値は一般食品100ベクレル/Kg以下)

**水道水**：不検出

**下水汚泥等**：入江崎総合スラッジセンター(4月24日測定) 放射性セシウム測定  
脱水汚泥：不検出 汚泥焼却灰：835 Bq/Kg  
(焼却灰は飛散防止処理の上、施設内等で安全に保管されています。)

**ごみ焼却灰**：橋橋処理センター(4月5日測定) 放射性セシウム測定  
主灰：48 Bq/Kg  
飛灰：129 Bq/Kg  
排ガス：不検出  
(飛灰は飛散防止処理の上、臨海部保管施設等で安全に保管されています。)

**放射線測定器の貸し出しを高津区役所でも行っています。  
(電話予約が必要です。044-861-3113)**

## 連載コラム

## 川崎と高津の地名(No.9)

参考：上田恒三著「高津村風土記稿」  
日本地名研究所編「川崎の町名」

### 「久本」の由来

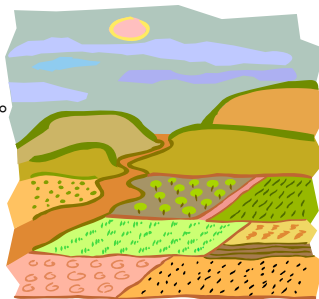
久本の地名は、永禄2年(1559年)の『小田原衆所領役帳』に「島津又次郎 14貫200文 稲毛久本」「後藤惣次郎 13貫632文 小机久本」と記載されていることから、古くから用いられていることは明らかなのですが、その由来は不明です。

この地には貝塚や6世紀以降の横穴古墳群もあり、石器や矢尻だけでなく直刀や管玉、埴輪の婦人像も出土しています。かなり早くから生産力が高い場所で、江戸時代には全域が天領となっていました。

『高津村風土記稿』によると、久本には28の小名

があり、この数は川崎市内でも最大となります。このことを見ても、久本が豊かな土地であることを示しているのだと思います。

室町時代の14世紀末頃には、地元有力豪族が生まれたと考えられています。中世、土地の永続的な繁栄を願い、久末や末長とともに「おめでたい地名」として久本と名づけられたのではないか、という説もあります。



## 政治資金ご寄附のお願い

地元から日本改革を実現するために、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

## 「ほりぞえ健後援会」宛

郵便振替：高津郵便局 口座00270-1-24169  
銀行振替：川崎信用金庫 高津支店 普通0796294